

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年 1月26日 No. 247

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

冬期体制真っ只中！気を引き締めて冬を乗りきろう！

今年の冬は、平地・山沿いに関係なく断続的に雪が降り続いています。東京方面では20cm以上の積雪や観測史上最高の -4°C を記録するなど、最強寒波の到来により全国あちこちに被害が出ています。飯山線の飯山付近や大糸線の白馬・南小谷付近は年明け前後から毎日のように雪が降り、除雪が間に合わず列車に多数の運休や大幅な遅れが発生しています。大糸線では大滑走が発生するなど、安全な輸送の根幹を揺るがしかねない事象も発生しています。

昨年12月15日から冬期体制に入り、今はちょうど冬期体制の約半分が経過しました。各職場において冬期体制のルールは守られていますか？無理な命令を受けざるを得ない、無理してでもやるのが当たり前になっているなどの

状況はありませんか？当たり前ですが、私たちの仕事は「安全第一」です。過去においては、青柳事故のように痛ましい事故が発生しています。



今一度、各職場においての冬期体制のルールを確認していただき、何かおかしいことや不安な事がありましたら、まずは分会で問題点を明確化して問題解決に取り組んでください。分会・支部で解決ができない問題がありましたら、長野地本まで連絡をください。

冬期体制終了まで、誰もが怪我なく無事に仕事ができるように、仲間同士声を掛け合い、気を引き締めて組合員それぞれが奮闘していきましょう！

「安全第一」で仲間の連携を密にしてがんばろう！